

昭和二十年十二月詔

支那事變日誌 或 卒 寫

松井石根

0269

217

S 1.1.1.0 - 27

0270

一 大命拜受

昭和十二年八月富士山中靜養中同月十四日陸軍大臣ノ招致ヲ受
 ケ上京翌十五日宮中ニ於テ上海派遣軍司令官親補ノ勅ヲ拜シ翌十
 六日參謀總長ヨリ派遣軍ニ關スル奉勅命令並參謀總長ノ指示ヲ受
 ク
 即派遣軍ノ任務ハ
 上海附近ノ敵軍ヲ掃蕩シ其ノ西方要地ヲ占領シテ上海居留民ノ
 生命ヲ保護スルニテ
 蓋シ當時ニ於ケル我政府ノ政策ハ中支ハ勿論北支ニ於テモ努メテ
 當局ヲ地的ニ解決シ事件ノ不擴大ヲ根本主義トセルヲ以テ上海
 附近ニ於テモ可成昭和七年列國ノ間ニ協定セル(一九三二年)條
 戰協定ノ精神並其ノ取極ニ遵ヒ時局ノ一時の解決ヲ企圖セシモノ
 ナリ從テ派遣軍ノ任務ハ上記ノ如ク極メテ消極的ニ上海附近ノ防
 衛ト我居留民ノ消極的保護ヲ其ノ目的トシ派遣軍ノ兵力モ第三
 師十一師團一二聯隊員一ノ二個師團弱ノ微弱ナルモノナリシナリ

218

S 1.1.1.0 - 27

正ノ須ク大命ヲ奉シ爲禋ヲ祈ルノ概ヲ深カラシメタリ
可ク願ミテ今昔ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
軍不ノ幸ニシテ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
ヤナトシテ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
ル昭和ノ日ニシテ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
シ精神ノ一ノ年ノ間ニ於テ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
ノ圖ルニ共ニシテ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
同胞ノ反シテ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難
感スル所アリ我朝ノ同志ヲ合シテ一大善處スヘキ勳民運勳ノ勃興
睦ヲ相互ノ融和提携ヲ祈念セリ滿洲事件起ルヤ予ハ自ら
同胞ノ反シテ率ノ感ヲ祭セサル所ヲ第ナルカ事ハ如何トモ致シ難

0272

其支那ノ北ニ駐在スルコト十有餘年常時支那ノ官民トノ間ニ親
ル子ハ陸軍出身以來先輩ノ志ヲ繼キ在職間終始口支兩部ノ提携ニ因
ト奉答セルニ上海派遣軍司令官拜命當時ノ所感ヲ記ヨリ抽出
外復シ列國ノ任務ヲ遂成スル爲メノ方針如何ト御下
問テ降下ヨリ今後派遣軍ノ任務ヲ遂成スル爲メノ方針如何ト御下
大揮官場シ以テ宸際ヲ安シ奉ラムコトヲ期ス
一海軍司令官ノ大命ヲ拜シ後履ナル勅語ヲ賜ヒ恐瀆感激ノ
仍左ノ如ク奉答ス
八日十七日午前十時予ハ宮中ニ於テ謁ヲ賜ヒ左ノ勅語ヲ拜ス
朕卿ニ委スルニ上海派遣軍ノ威武ヲ中外ニ顯揚シ以テ予ノ尙信

0271

リタリ
 斯クテ上海附近ノ我居留民ヲ保護セントスル當初ノ消極的方針ハ
 容易ニ之ヲ達成スルコト難ク遂ニ我陸海兵力ヲ増強シテ江南附近
 一帯ヲ掃蕩スルニ非レハ我軍派遣ノ目的ヲ達成スルコト能ハサル
 ニ至リ自然作戰ハ漸次ニ其ノ局面ヲ展開シ遂ニ第十軍ノ派遣トナ
 リ更ニ上海方面軍ノ編組トナリ進テ敵ヲ江南以西ニ驅逐スルノ必
 要ヲ認メ遂ニ南京攻畧ニ進展スルニ至レリ
 而カモ最モ遺憾ナリシコトハ本作戦ニ對スル列國軍ノ態度ナリ蓋
 シ支那ニ權益ヲ有スル列國カ本作戦ニ對シテカササル關心ヲ有スルハ
 勿論ナリト雖モ彼等ハ一九三二年ニ於ケル列國ノ停戰協定（昭和
 七年協定）ヲ協力支持シテ事件ノ發展ヲ阻止スルノ方針ニ出テス
 シテ支那政府及其軍隊ニ對シテ同情ヲ有スルノ餘リ直接間接ニ支那
 軍ノ作戰ニ便宜ヲ與ヘ時ニハ之ヲ援助スルノ行動モ尠カラス殊ニ
 英佛軍隊ノ行動ハ我軍ノ作戰ニ許多ノ不便ヲ與ヘタリ而カモ我軍
 ハ隱微只々列國官憲及其軍隊トノ諒解ヲ得ルニ努メ我作戰ヲシテ
 列國官民ニ被害ナカランメン爲メ有ラユル不便ヲ忽ヒテ事態ノ國
 際的紛糾ヲ招クニ至ラサルコトヲ期シタリ

0274

以上上海附近戰鬪ノ方針ニ違ヒ予ハ上海附近ノ戰鬪ニ際シ特ニ
 左記方針ヲ採リ部下各隊ニ對シテモ常時此方針ノ徹底ニ努力セリ
 一 上海附近ノ戰鬪ニ專ラ我ニ挑戰スル敵軍ノ截定ヲ旨トシ所在
 支那官民ニ對シテハ努メテ之ヲ宣撫愛護ス可キコト
 二 上海附近ノ戰鬪ニ依リ列國居留民及其軍隊ニ累ヲ及ボササル
 コトニ專念シ特ニ列國官憲及其軍隊ト連絡ヲ密接ニシ彼我ノ
 誤解ナキヲ期スルコト
 然ルニ上海附近ノ支那官民ハ蔣介石多年ノ排日毎日ノ精神相當
 ニ徹底セルニヤ到ル處我軍ニ對シテ強キ敵愾心ヲ拘キ直接間接我軍
 ニ不利ナル諸般ノ行動ニ出テタルニミナラズ婦女子スラモ自ラ義
 勇軍ノ一員トナリ又ハ密偵的任務ニ當レルモノアリ自然作戰地域
 ハ極メテ一般ニ不安ナル状態ニ陥リ我作戰ノ進歩ヲ阻害セシコト
 尠カラズ殊ニ蔣介石ハ漸次支那各地ヨリ其軍隊ヲ江南地方ニ集結
 シ我軍ノ作戰初期ニ於テ我ヲ擊退スルノ計畫ヲ有セシ如ク所在支
 那軍ハ屢々夜襲其他ノ方法ヲ以テ我軍ニ向ヒ攻勢ヲ採ルニ努メタ
 リ
 因ニ九月十七日頃ニ於ケル中國軍ノ江南地方ニ集中セル兵力ハ
 既ニ四十三師ニ及ビ尙西支那各地ヨリ約二十師ヲ集結シツツア

0273

命合ニ對シ充分ナル考慮ヲ拂ヒ特ニ我軍ノ軍紀風紀ヲ嚴肅ナラシ
メシテ切ナル訓示ヲ與ヘタリ本訓示中特ニ予自ラ加筆セル末
文左ノ如シ
敵軍ト雖モ既ニ抗戰意志ヲ失ヒタルモノニ對シテハ最モ寛容慈
悲ノ態度ヲ採リ尙一般官民ニ對シテハ常ニ之ヲ宣撫愛護スルニ
努メ皇軍一過所ニ在官民ヲシテ皇軍ノ威徳ヲ仰キ欣テ我ニ歸服セ
シムルノ概アルヲ要ス
加ノ南京攻撃戰ハ自然内地官民ニ許多ノ犠牲ヲ來スヘク尙孫中山
陵、明ノ高陵其他南京城外ニ於テ其ノ隊伍ヲ整ヘ正
ルヘキヲ慮リ各軍ニ令シテ先ツ南京城外ニ於テ其ノ隊伍ヲ整ヘ正
ル堂々秩序アル入城ヲ行ハシメント欲シ夫々總切ナル諭示ヲ與フ
ニト共ニ南京攻略ノ目的ヲ達セシムルヲ欲シ夫々總切ナル諭示ヲ與フ
段ニ依リ南京攻略ノ目的ヲ達セシムルヲ欲シ夫々總切ナル諭示ヲ與フ
ニ通ハス飽迄南京城ノ防備ヲ行ヒタルヲ以テ遂ニ南京城内ノ度之
テ相當ノ激烈ナル戰闘ヲ惹起シ自然戰禍ノ及フ處甚大ナルニ至リシ
ハ遺憾ノ至ナリ尙敗走セル中兵カ其ノ武裝ヲ棄テ所謂一便衣兵
トナリ執拗ナル抵抗ヲ試ムルモノ難ク自然一般良民ニ累ヲ及ボスモ
ノスル軍民ノ別ヲ明カニスルコト難ク自然一般良民ニ累ヲ及ボスモ

8 1.1.1.0 - 27

224

0273

四、南京攻略ニ至ル作戰
我軍ノ上海附近作戰ハ派遺軍兵力ノ増派ニヨリ頑強ナル敵ノ抵抗
ヲ排除シツツ多クテ上海市及其南方地域ヲ占領シ上海在任我居留
民及海軍ヲ救フヲ待タリ、然レトモ上海西方新ニ其兵力ヲ上海
軍抵抗ヲ増強スルノアリ又蘇州、常熟附近ニ其兵力ヲ上海
面ニ派遣増強シツツアリ又蘇州、常熟附近ニ其兵力ヲ上海
アリ南京トノ間ニ三重ノ障地ヲ構築シテ江南地方ノ防備ヲ急キ更
ニ其兵力ヲ増強シツツアリ又蘇州、常熟附近ニ其兵力ヲ上海
ヲ確保シテ同地方ノ治安ヲ保持スルノ必要ナルヲ認メ遂ニ十一月
上海ニ至リ上海方面軍ヲ第十軍(柳川中將)ノ率ユル三師團一及元上
東北岸ニ陸中ナリ第十軍(柳川中將)ノ率ユル三師團一及元上
海派遣軍一(朝香宮中將)ノ率ユル五個師團一ヲ上海方面軍司令官
ル子ノ統率ニ屬シ十一月上海ニ至リ第十軍(柳川中將)ノ率ユル三師團一及元上
ヲ驅逐シテ南京ヲ攻略スルコトナレリ
於此予ハ直ニ部下兩軍ニ命令シ各々富面ノ敵ヲ驅逐シテ南京東方
紫金山ノ線ニ進出スルニ決シテ夫々追撃ヲ命セリ然レトモ本作戦
ハ固ヨリ我政府本來ノ政策ヲ逸脱スルミナラス上海附近作戰ノ
經緯ニ鑑ミ今後江南地方ニ於ケル大規模ナル作戦ノ實行カ今後ニ
於ケル日支兩國ノ關係ニハナル影響ヲ及ボスヘキヲ憂慮シ右追撃

3 1.1.1.0 - 27

223

0275

湖州ノ線ニ停止セシメ隊伍ノ整頓ト補給ノ進捗ヲ圖リ徐々ニ正
々堂々攻取再舉ヲ行ハシタリシカ我大本營全般ノ作戦
計畫上海方面軍ノ一部ヲ他方面ニ轉用スルノ計畫ナリシト敗
退セル關係上遂ニ急劇快速ノ追撃ヲ決行スルニ決セリ有利
ト本作戦間江陰附近ニ於ケル我海軍飛行機ノ米國軍艦「パネー」
又本艦及南京上流ニ於ケル我陸軍部隊（橋本砲兵隊）ノ英國軍
艦及商船砲撃事件等ヲ惹起セルハ遺憾ナリシモ此レハ敗退スル
軍カ多ク英米等ノ艦船ヲ利用スルモノカラサリシ事實ト追撃
間避ク可ラサル我部隊ノ與奮トニ因リ其過誤ヲ招來スルニ至リ
タル次第ニテ予ハ本件ニ對シテモ各部隊ニ對シ嚴重ナル警告ヲ與
ヘタリ
又我軍ノ南京入城直後ニ於ケル奪掠行為ニ對シテハ特ニ嚴重ナル
調査ヲ行ヒ努メテ之ヲ賠償返還セシムル法ヲ講シタリ特ニ米佛
其他列國官民ニ對スル賠償ニ關シテハ外交官憲ヲ介シテ米佛
友誼的ニ本件ノ善處ヲ圖レルモ戰場内ニアル列國人ノ財産生命カ
自然戰禍ノ累ヲ受ケタルコトハ已ムナキ次第ト云ハサルヲ得ス

五、我軍ノ暴行奪掠事件
上海附近作戦ノ經過ニ鑑ミ南京攻略戦開始ニ當リ我軍ノ軍紀風紀
ヲ嚴シクナラシメン爲メ各部隊ニ對シ再三ノ留意ヲ促シテ前記
ノ如ク惹起シ皇軍ノ威徳ヲ傷クルコト尠ナラサルニ至レルヤ是レ
思フニ
一、上海上陸以來ノ黒戦苦闘カ著ク我將兵ノ敵愾心ヲ強烈ナラシ
メタルコト
二、急劇迅速ナル追撃戦ニ當リ、我軍ノ給養其他ニ於ケル補給ノ
不完全ナリシコト
三、因テ予ハ南京入城翌日（十二月十七日）特ニ部下將校ヲ免ル能ハ
スニ之ヲ叱責シテ善後ノ措置ヲ要求シ犯罪者ニ對シテハ嚴格ナル
處断ノ法ヲ執ルヘキ旨ヲ嚴命セリ然レ共戦闘ノ混雜中惹起セル是
等ノ不詳事件ヲ盡ク充分ニ處断シ能ハサリシ實情ハ已ムナキコト
ナリ
因ニ本件ニ關シ各部隊將兵中軍法會議ノ處断ヲ受ケタルモノ將
校以下數十名ニ達セリ又上海上陸以來南京占領迄ニ於ケル我軍
ノ戦死者ハ實ニ二萬三千三百餘名ニ及ビ傷病者ノ總數ハ約五萬人
ヲ超ヘタリ尙我軍ノ南京攻略ニ關シテハ予ハ最初先ツ軍ヲ蘇州

トシ大工場大建築等ハ全ク其戦禍ヨリ免レシムルヲ得タリ是レ
 作戦ノ終始予カ部下諸部隊ニ嚴命シ我作戦上ノ不利ヲ忍ビテ列
 國ニ戦禍ヲ及ホササル様取計ヒタル結果トシテ今更乍ラ予ハ我
 人ノ保護ヲ外ニシ列國ノ利權ノ保護ニ全力ヲ致シタルノ結果ニ
 陷リ我朝野ニ對シ深ク相濟マサル義ナリト苦悶シツツアリ云々
 右ニ對シ「ヤール」ニ提督ハ能ク予ノ意中ヲ解シタル如ク又前ニ
 英國「リットル」ニ提督ニモ同様ノ義ヲ申述ヘテハモ彼ハ充分ノ
 理解シ英政府ニ對シ予ノ苦衷ヲ傳達スヘシト約シタリ
 斯クシテ予ハ上記屢次ノ英米兩國海軍長官トノ間ニ十分ノ意志ノ
 疏通ヲ遂ケタルノミナラス今後兩國政府ノ態度如何ナルヘキモ吾
 等軍學當局者ハ上海地方ハ勿論太平洋ノ平和ニ關シテモ協力的態
 度ヲ執ルヘキ旨ヲ誓ヒタル次第ナリ
 ツツアリシカ十月十日倫敦「タイムズ」一通信員「フレザ」氏及
 經育「タイムズ」一通信員「アベレ」氏「ナセリ」曰ク
 予ハ三十餘年來日支提携ノ爲ニ微力ヲ盡シ來タルモノニシテ其
 多年ノ信念ニ鑑ミ今ニ於テモ支那ヲ膺懲スルト云フ考ニ充タサレ
 今共産主義勢力ヨリ之ヲ救脱スルコト緊急ニシテ是レ支那自身

S.I.I.O-27 228

0280

上海六、作戦ノ前後予自ラ實施セル列國軍民トノ交渉ノ大要
 ニ豫告ヲ與ヘ戦禍ヲ避クヘキコトヲ豫告スルト共ニ我外交官憲
 シテ屢次在上海列國軍官憲ニ懇切ナル豫告ト告ラ與ヘ更ニ協力
 的治安ノ維持ニ努メタリ殊ニ英艦隊司令長官「リットル」大將
 及同艦軍司令官「スモ」大將トノ間ニハ予自ラ十一月十
 日及同月十七日ノ兩日ニ亙リ親ク會見シテ我ノ意志瞭然ラ
 作戦同英軍及其官民ニ亙リ親ク會見シテ我ノ意志瞭然ラ
 セルノ外十一月二十四日及十二月二十五日ノ兩回艦隊大使及
 海軍司令長官ト會見シテ總界及南市ニ駐スル諸問題ニ付意見ヲ
 交換シテ彼我ノ諒解ヲ遂ケタルノミナラス「リットル」大將
 民保護ニ盡力セル牧師「ジャキ」氏ノ行動ニ對シ厚ク感謝ノ
 意ヲ表シ金若干ヲ附トシテ其運動ヲ協助セリ
 米國海軍司令長官「ヤール」ニ提督ニ對シテハ十二月二十四日同
 表二十五日ノ兩回ニ亙リ會見シテ「パネ」一事件ニ關シテ
 予ハ因トヨリ上海附近ニ於ケル日本居留民ノ生命財產保護ノ任
 ラ專ケ渡來シ懇切ナル勸告ヲ上我軍ノ兵二萬有餘ヲ免ルハ外上
 リ海附近ニ在ル華人ノ工場ノ多クハ少カラス有餘ヲ免ルハ外上
 リシカ英米其列國ノ工場ノ多クハ少カラス有餘ヲ免ルハ外上

S.I.I.O-27

227

0279

尙兩氏ノ暫問ニ應ヘテ曰ク
 上海地方ニ於ケル此種ノ事件ハ最早再ヒ之ヲ繰返ヘリル様今
 度コソ完全ニ善處スルコト必クナリト考フ殊ニ上海ノ特殊地位
 ニ鑑ミ予ハ出發前ヨリ列國ノ協力ニヨリ之ヲ遂行センコトヲ期
 シアリシカ其後内外一般ノ狀勢及現地ノ狀況ヲ體驗シ聊カ從來
 ノ希望ヲ失ヒタルノ感アリ即チ列國カ一九三二年ノ停戰協定ヲ
 支那ニ遵守セシムルノ義務ヲ執ラリシノミナラス其後本事件
 ニ關スル態度カ列國ノ協力ノ上ニ目信ヲ失ハシメタルヲ遺憾ト
 ス云々
 之ニ對シ「フレンリー」氏ハ致テ之ヲ論辯セス然ラハ如何ニモ其
 協力ヲ遂ケ得ヘンヤト反詰ヒルニヨリ「ハ
 石ハ列國カ日本ノ行動ニ侵略的カ救濟的ナルカノ根本觀察ヲ改
 ムルコト先決條件ナリ
 ト答ヘタルニ彼ハ答ヘス「又「アベレド」氏ハ石ハ米國ニ於テ
 モ同様ナリヤト問ヘルニヨリ「ハ
 上海地方米國官民ノ態度ハ特ニ今日直チニ指摘スベキ程ノモノ
 ナキモ最近米國ニ於ケル大統領ノ演說ノ内容ニ就テハ不満足ノ
 モノナリト答ヘタリ
 尙十一月三十日再ヒ石兩通信員ト會見シ上海占領後ニ於ケル我軍
 ノ態度方針ヲ説明シ上海附近ニ於ケル列國ノ權益ヲ保護スル爲予

S.I.I.O-27 230

0282

ノ爲ノミナラス東亞全般ノ爲直ニ緊急ノ事項ナリ
 於此予ハ日本固有ノ國民精神ト東洋傳來ノ道徳ノ根基ニ立チ日
 本人得意ノ犧牲的行動ヲ發揮シ東亞百年ノ平和ニ貢獻センコト
 ラ冀ヒツツアリ願クハ歐米諸國ノ官民カ我等ノ此ノ信念ニ信
 シ留ク日本ノ爲ス所ヲ靜觀センコトヲ望ム

S.I.I.O-27 229

0281

ノ執リタル苦心ノ程ヲ開陳セルニ彼等ハ我軍ノ公正ナル態度ニ
 就キ感謝ノ意ヲ表セリ
 石ノ外十一月十日在上海A.P.U.P.ルーター、ハウアス其他各
 ノ主事ナル通信員ト會見シ上記同様軍ノ方針、將來ニ於ケル企
 圖等ニ就キ説明ヲ與ヘ特ニ左ノ要旨ヲ述ヘタリ
 今次上海事件ノ發端ハ支那軍ノ江南方面ニ於ケル排日行動ニ
 對シ列強カ日本ト協同シテ一九三二年ノ停戰協定ノ維持ニ盡
 リリシコトニ原因セリ然カモ列強カ事變勃發後支那軍ニ同
 情スルノ餘リ日支ノ抗爭ニ對シ中正ナル態度ヲ保持ヒス中立
 的義務ヲ實行セリリシコトハ甚タ遺憾トスル所ニシテ其結果
 戰禍ノ及フ所遂ニ列強官民モ之ヲ免レ能ハハリシハ己ムヲ得
 ヲル所ナリ云々
 之ニ對シテハ各通信員ハ何人モ敢テ之ニ對シ反駁的態度ニ出ツ
 ルモノナク之ヲ肯認セルノ風アリシヲ認メタリ
 附記
 是等ノ消息ハ當時通譯ノ任ニ當レル岡崎外務書記官ノ詳知スル
 所ナリ

(了)

S.1.1.10-27

231

0283-1